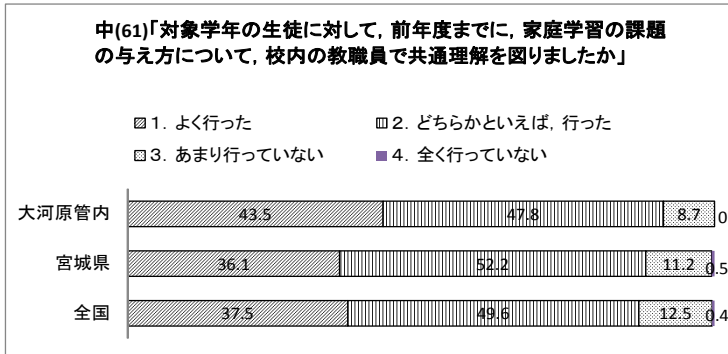




指導班だより

学力向上に向けて ～ Let's try! ～

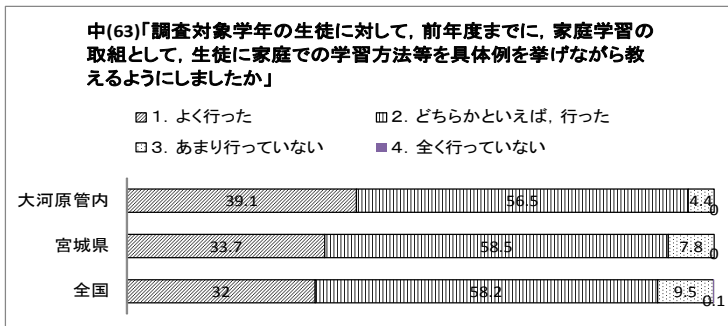
平成30年度全国学力・学習状況調査の結果のうち、今回は中学校の学校質問紙及び生徒質問紙における家庭学習に関する設問の回答結果を見てみました。大河原教育事務所管内の傾向を確認し、学力向上に向けた改善の方策について考えてみたいと思います。
【学校質問紙から】・・・「中学校の家庭学習について」



学校質問紙から・・・

ほとんどの学校が、教職員間で家庭学習の課題の与え方について共通理解を図るとともに、生徒に対し家庭学習の方法についても具体的に教え、自主的に学習する習慣を身に付けさせるよう努力していることが分かります。

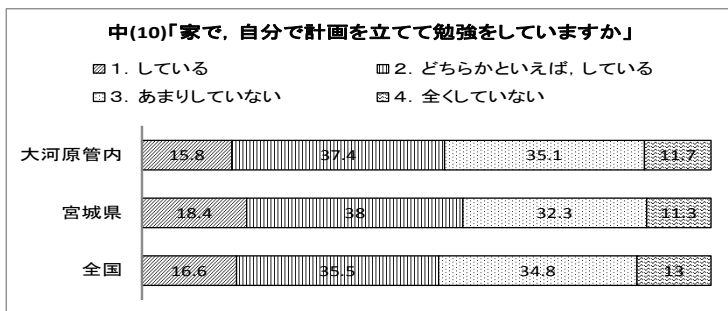
【生徒質問紙から】



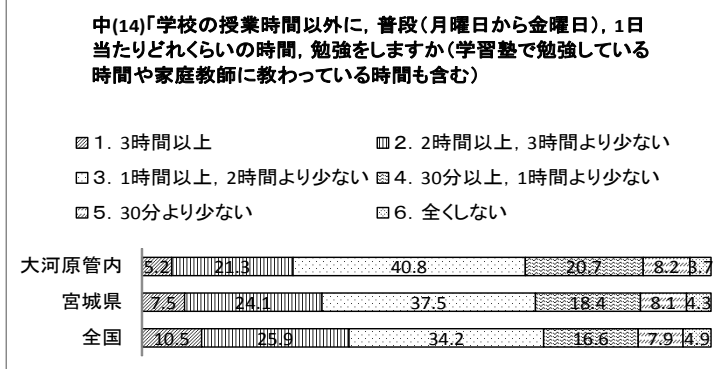
しかし・・・

生徒質問紙から・・・

計画的かつ十分な時間を確保して家庭学習に取り組む習慣の定着は今一つと言えます。先生方による家庭学習の指導が、生徒に十分に浸透していない傾向があります。



先生方の指導が、生徒に十分に浸透していないのはなぜでしょうか。先生方で話し合ってみましょう。





ポイント1. 家庭学習の見通しと価値を伝えましょう

- ①家庭学習の課題について、「これを学習すると何ができるようになるのか」という見通しを生徒にきちんと示しましょう。
- ②「この課題をやって授業に臨んだら、次の授業がよく分かった」「今日学んだことが、課題に取り組んだことでより理解が深まった」と生徒が実感できる課題を出しましょう。
- ③「授業とのつながりを考えた課題」や「課題で取り組ませたことを生かした授業」を意識しましょう。

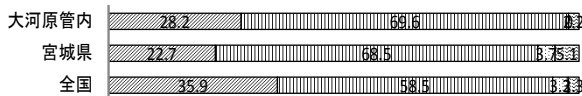


ポイント2. 個人差に配慮して課題を与えましょう

- ①生徒の理解度に応じて課題の内容を選択させたり、課題を変えたりするなどの工夫をしましょう。
- ②課題を与える際は、教科間で連携して量や内容を調整しましょう。
- ③家庭学習に全国学力・学習状況調査や独自の学力調査の問題を積極的に活用しましょう。

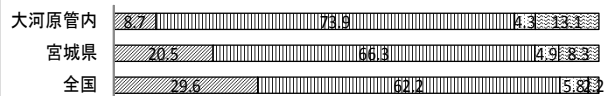
小(33)「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか」

- 1. よく行っている
- 2. どちらかといえば、行っている
- 3. ほとんど行っていない
- 4. 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない



中(32)「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか」

- 1. よく行っている
- 2. どちらかといえば、行っている
- 3. ほとんど行っていない
- 4. 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない



大河原管内は、小学校、中学校ともに、全国学力・学習状況調査と独自の学力調査の結果から得られた課題を、教育指導に生かしている割合が低い傾向があります。特に中学校は、その傾向が顕著です。

学力調査の問題を、個人差に応じて家庭学習の課題にするなどの工夫をしてみてもいいかがでしょうか。



ポイント3. 家庭での学習の仕方について、適宜教えるようにしましょう

- ①課題を出す際に、生徒が一人でも学習できる方法を適宜教えるようにしましょう。
- ②自分自身の学習方法に対する自覚を高める工夫をしましょう。
- ③自分に合った学習方法を探す意識を持つこと、自分にとって効果的な方法を早く見付ける必要があることを指導しましょう。



ポイント4. 学級経営を家庭学習の促進に活用しましょう

- ①学級集団として学びに向かう雰囲気をつくり、生徒一人一人の家庭学習に対する意識を高めましょう。
- ②学力向上、家庭学習の充実は、学級経営が基盤であることを意識して指導に当たりましょう。

☆「やらされている」から「自ら取り組む」家庭学習へ

特に中学校の場合は、教師によって与えられた課題に取り組む家庭学習から主体的に選択した課題に取り組む家庭学習への転換を図ることが重要です。これを促進するための方策を各学校でご検討ください。